

【第6回】肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会

●第6回肱川大規模氾濫に関する減災対策協議会

- ・実施日：平成29年5月31日(水) 13:30~14:30
- ・場所：大洲市役所 別館3階 第1会議室
- ・出席者：大洲市長、西予市長、西予市消防本部消防長、内子町長、伊予市副市長、砥部町総務課長、松山地方気象台長、愛媛県(南予地方局 八幡浜支局長、大洲土木事務所長、西予土木事務所長、中予地方局 河川砂防課長) 国土交通省四国地方整備局(大洲河川国道事務所長、山鳥坂ダム工事事務所長、野村ダム管理所長)
- ・事務局：大洲河川国道事務所、大洲土木事務所

●開催状況



●構成員発言要旨

- ・避難判断となる基準水位の適正さやエリア等を河川改修の進捗も踏まえて議論していければと思う。(大洲市長)
- ・毎年5月に水防工法訓練を実施している。簡単な訓練ではあったが技術の会得ができた。引き続き技術の向上に努めて参りたい。(伊予市副市長)
- ・愛媛県との「ホットライン」を他の模範となるように構築検討していきたい。(西予市長)
- ・先般、旧広田村の玉谷川の重要水防箇所のパトロールをしたが、今年からは地元の方々にも参加していただき水防の意識が深まった。砥部町は主に重信川流域であり、町の判断水位が重信川の出合水位観測所になっている。肱川流域の玉谷川では基準となる水位がないので、今後の課題ではないかと感じている。(砥部町総務課長)
- ・小田川の洪水浸水想定区域図についてなるべく早く成果を見せてほしい。これにより、避難行動をどう計画すればよいか調整したい。(内子町長)
- ・減災に対して防災情報を発信することで貢献していきたい。また「警報級の可能性」及び「危険度を色分けした時系列」、「大雨・洪水警報や大雨特別警報の改善」、及び「危険度分布の提供」を開始するので、ぜひ活用していただきたい。(松山地方気象台長)

●テレビ・新聞等への取材状況

- ・テレビ：1社(ケーブルネットワーク西瀬戸)
- ・新聞：2社(愛媛新聞、読売新聞)